

## 2、 全国学力考査・学習状況調査の結果よりみえてきた課題①

2018年度質問事項	本校	全国	差
今住んでいる地域の行事に参加していますか	24.5%	35.9%	-11.4
地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	28.3%	40.1%	-11.8
地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことはありますか	17.0%	17.3%	- 0.3

- ① 子どもたちは地域とのつながりについての意識が低く、希薄と感じていることがわかった。地域の方に協力してもらいおこなっている交流に系統性がないため、本校の特色である地域連携は、交流に深まりと積み上げがないことが原因ではないかと考えた。他校にはない地域の方々の思いを教師側が子どもにうまく伝えられていない。明確な目標をもち、ふりかえりや、まとめを繰り返しおこなうなどの工夫が必要だと考える。

めざす子どもの姿  
地域の方に感謝して、自分たちの  
ふるさとに愛着をもち今後も社会に貢献できる子

## とりくみ

## 地域連携の系統だったカリキュラム作り「伏山ってええやん」の作成

○地域からボランティアを募り、協力を得る中で、子ども達が地域との繋がりを意識できるようにする。

○地域の方々の困り感に寄り添いながら、プログラミング的思考で解決策を子どもたちに考えさせたい。そして、地域の方々へ「感謝の思い」を「行動」に移し、「思い」を「カタチ」にしていきたい。